

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2丁目1-1
 広島工業大学 工学部 環境土木工学科 風早悟史研究室内
 会長室：〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52番1号
 静岡県立大学 国際関係学部 国際言語文化学科 澤田敬人研究室内
 学会HP：http://www.hikakubunka.jp/

《日本比較文化学会第47回全国大会・2025年度国際学術会議のお知らせ》

中国四国支部・大会実行委員長 轟木 靖子（香川大学）

来る2025年5月17日（土）、日本比較文化学会第47回大会が香川大学で開催されます。初めての香川での開催となります。ただいま支部役員が一丸となって準備を進めております。名物のうどんはもちろん、瀬戸内国際芸術祭の数々の作品にも触れていただく機会となれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。午前中にシンポジウム、午後に講演、研究発表を予定していますが、シンポジウムのテーマおよび概要は以下のとおりです。

*シンポジウムのテーマ：比較文化の地域性と新たな視点の創造

***概要：**現在、それぞれの地域で、昨今のさまざまな状況により、これまでとは異なる文化との接触を通じて新たな視点や価値観が生まれ育っているのではないのでしょうか。異なる文化、というと母国以外の国、というイメージですが、外国ということだけでなくコロナによって変化したこと、世代間の意識や感覚の差、AIや通信技術等の活用による物理的な環境の変化なども考えられます。

また、地域に目を向けるきっかけとして今回の四国での開催も良い機会であると考えられます。これは、都会と田舎、のような対立図ではなく、国家全体に対する、人々が実際に生活を送っている一つ一つの地域、という視点であり、都市も郊外もそれぞれの地域で育まれた文化や価値観があります。

それぞれの地域の特色を生かし、これまで培われた文化と新しく取り込まれた文化を比較しつつ、その一つ一つを汲み上げ、新たな視点の創造に向けてよりよい社会につなげていくことが今の私たちには必要ではないかと考えます。

（写真提供：（公社）香川県観光協会）



《日本比較文化学会第 47 回全国大会・2025 年度国際学術会議スケジュール》

中国四国支部・大会実行委員長 轟木 靖子（香川大学）

日時：2025 年 5 月 17 日（土）

会場：香川大学 幸町キャンパス（香川県高松市幸町 1-1）

シンポジウムテーマ：比較文化の地域性と新たな視点の創造

- ・研究発表、シンポジウム、講演、総会、懇親会、理事会および編集委員会の詳細なスケジュールにつきましては、決定次第学会 HP にてお知らせいたします。

《支部報告》

北海道支部

* 【お知らせ】北海道支部研究発表会・シンポジウム

日時：2024 年 11 月 30 日（土）13:00～17:00

場所：北洋大学（北海道苫小牧市錦西町 3 丁目 2 番 1 号）

プログラム

司会：福本 達也（北海道支部事務局）

1. 開会の辞
2. 支部長挨拶（北海道支部支部長 奥村 訓代）
3. 研究発表
 - (1) 馮 一峰（北洋大学）「中国語の指示詞の教え方—日本人中国語学習者を対象に—」（オンライン発表）
 - (2) UN TEVANDA（ウン・テワンダ）（大阪大学大学院）「母語の負の転移がカンボジア人日本語学習者の授受補助動詞の非用に及ぼす影響に関する研究」（オンライン発表）
4. シンポジウム：倉田 誠（京都外国語大学教授）、福嶋 剛司（北洋大学専任講師）ほか
「メディアでひもとく英語の世界」
5. 研究発表
 - (1) 松家 鮎美（岐阜薬科大学）「大学基礎教養課程における質問力の養成—グローバル人材育成の観点から—」（オンライン発表）

*

【お知らせ】2024 年度北海道支部総会および東北／北海道支部合同研究大会

日時：2025 年 3 月 14 日（金） 午前：支部総会 午後：支部大会

その他の事項は未定です。詳細が決まり次第学会 HP でお知らせいたします。

支部長 奥村 訓代

東北支部

* 【お知らせ】2024 年度東北支部総会および東北／北海道支部合同研究大会

日時：2025 年 3 月 14 日（金）

場所：戦災復興記念館 4 階 第 2 会議室（〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2 丁目 12-1）

本大会は、対面およびオンラインのハイブリッド形式で実施されます。

- 東北支部総会：12:00～（予定）
- 合同研究大会：13:00～（予定）

なお、プログラム等の詳細は学会の Web ページをご確認ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

支部長 高橋 栄作

関東支部

*【報告】第61回 関東支部例会

日時：2024年3月10日（日） 13時～

場所：富山短期大学（対面・zoomのハイブリッド開催）

プログラム

- (1) 高橋 強（東海大学）「スポーツ英語習得：プロジェクト型学習とランゲージングの観点から」
- (2) 岩崎 智史・杉本 雅彦・金塚 基（東京未来大学）「高等学校応援団生徒のエールの発声技法が与える心理効果について—発声に対する感情評価分析から—」
- (3) マヴィークムブラ・カルロヴァー・ペトラ（パラツキー大学）「Theravada Buddhist Virtues in Karate Life: Generosity of Sri Lankan Karate Practitioners」

*【報告】第62回 関東支部例会

日時：2024年10月12日（土） 13時～18時

場所：東京未来大学 A104/105/204 教室

プログラム

- (1) 張 筱婷（宇都宮大学大学院）「割り込み発話の機能とその話題推移への影響—母語場面と接触場面との比較—」
- (2) 盤 大琳（早稲田大学大学院）「日本における中国人親の言語意識と実践—言語教育方針の視点から—」
- (3) 前田 浩（新島学園短期大学）「群れを表す英語表現の認知度と汎用性」
- (4) DUANYUNYI（宇都宮大学大学院）「中国人日本語学習者向けの文化適応型教授法に関する研究」
- (5) 周 浩（日本女子大学大学院）「初対面会話における発話の重なり後の発話権交替—日本語母語場面と中国語母語場面の比較—」
- (6) 鈴木 宣行（創価大学）「調査研究資料から読み解くセネガルの医療」
- (7) 田中 則広（淑徳大学）「日米中メディアの視点から探る朝露首脳会談の報道」
- (8) 大野 雅子（帝京大学）「『おふくろの味』の意味の変遷」
- (9) 柴田 香奈子（東京大学社会科学研究所）「厳律シトー修道会の『労働』と『沈黙』に関する現代への適応化について」
- (10) エスカンド・ジェシ（早稲田大学高等研究所）「現代日本ファンタジー、新中世主義とRPGの相互関係を再考して—データベース・ファンタジーのジャンル論と記号論を中心に—」

*【報告】第63回 関東支部例会

日時：2024年12月21日（土）13時～18時

場所：東京未来大学 C332/333 教室

プログラム

- (1) 李 静怡（筑波大学大学院）「1872年以降のムソルグスキー作品にみられるダーウィンの影響」
- (2) 鈴木 アリサ（宇都宮大学大学院）「文学が映し出す日本のジェンダー問題—多文化の視点で読み直す楊逸文学—」
- (3) 茂石チュック・ミリアム（スロヴェニア共和国大使館）「子どもの話者—ボリス・パーホル『港の焚火』の和訳へ—」
- (4) 野田 晃生「中国におけるワシーリー・エロシエンコ」
- (5) 龐 朝霞（奈良女子大学大学院）「日中両国のコミュニティ防災比較：コミュニティ構造と災害法システムの視点」
- (6) 岩崎 智史・杉本 雅彦・金塚 基（東京未来大学）「高等学校の女子応援団員におけるエールの発声技法が与える心理効果—発声に対する感情評価分析から—」

- (7) 遠山 一明 (横浜市立大学大学院) 「日本文化における自律性—日本と欧米の道德観から見えてくること—」
- (8) 田中 則広 (淑徳大学) 「拉致被害者に向けた日本政府の情報発信—北朝鮮向けラジオ放送『ふるさとの風』の内容分析—」

*** 【お知らせ】 第 64 回関東支部例会・2024 年度関東支部総会**

日時：2025 年 3 月 8 日(土) 13 時～18 時

場所：東京未来大学 A104/105/204 教室

副支部長 郭 潔蓉

中部支部

*** 【お知らせ】 中部支部令和 6 年度例会**

中部支部令和 6 年度例会を下記日程で開催予定です。皆様の御参加をお待ちしております。他支部の皆様
の御参加も歓迎いたします。

日時：2025 (令和 7) 年 3 月 30 日 (日) 13:00～17:00 頃を予定

場所：椋山女学園大学 星が丘キャンパス

内容：自由研究発表・総会

※対面とオンラインのハイブリッドといたしますが、オンライン用の機材やネットワークの不調などの事態
が生じて中止や中断などはせず、対面 (会場) の進行を優先します。したがって、発表者の方は可能な限
り対面参加を御選択いただければ幸いです。

※前回の会報でお知らせいたしました通り、当初、北信越地域での例会開催を構想しておりましたが、同地
域に中部支部会員が非常に少ないことがわかりました。そのため態勢をたてなおし、学会広報や会員勧誘な
どの要素を盛り込んだキャラバン的なイベントを来年度以降に開催することを目指していきたいと思いま
す。

・今後のお知らせなどはウェブサイトでご案内しますので、そちらをご確認ください。

支部長 樋口 謙一郎

関西支部

*** 【報告】 日本比較文化学会関西支部 10 月例会**

日時：2024 年 10 月 12 日 (土) 13:30～16:55

場所：同志社大学今出川キャンパス 寧静館 N35 教室、N36 教室

プログラム

1. 研究発表 (13:30-15:45)

(寧静館 N35 番教室)

- (1) 李 逸飛 (関西大学大学院) 「三島由紀夫『美徳のよろめき』論—レーモン・ラディゲ影響の視点から—」
- (2) 江 迅 (関西大学大学院) 「湯浅克衛『白系露人村—ロマンノフカにて—』論—『大陸日本人』への道—」
- (3) 橋尾 晋平 (名古屋外国語大学) 「文構造に関する能力の養成を目指した『意味唄』を活用したリーディ
ング授業の実践研究—TOEFL ITP の Structure 問題を資料として—」
- (4) 佐古 恵里香 (流通科学大学) ・山内 信幸 (同志社大学) 「読み物における視覚イメージが果たす役割—
日本語母語話者のアイトラッキング計測結果の分析を通じて—」

(寧静館 N36 番教室)

- (1) 黄 耀儀 (文藻外語大学) 「文学者西川満の日本天后会における幸福観—日本新宗教研究の視座からの考
察—」
- (2) 塩田 英子 (龍谷大学) 「視点の転移とメタ解釈：英語の感嘆疑問文を例に」

- (3) 江濱 陽介 (安田女子大学) 「『国語』概念についての教育社会学的考察」
- (4) 曾田 裕司 (花園大学) 「なりきりとごっこ遊びの対比—ドールーズ=ガタリ『千のプラトール』に基づく考察—」
2. 講演 (16:00~16:50) (寧靜館 N35 番教室)
渡辺 公貴先生 (同志社大学生命医科学部医工学科教授) 「変形型月面ロボット SORA-Q の一粒の挑戦」
3. 閉会 (16:50~16:55) (寧靜館 N35 番教室)

***【報告】日本比較文化学会関西支部 12 月例会**

日時：2024 年 12 月 21 日 (土) 13:00~17:00

場所：同志社大学今出川キャンパス 寧靜館 N35 教室

プログラム

1. 研究発表 (13:30~15:50)
- (1) 張 宇 (大阪公立大学) 「日中の『狐女房』における語り手のジェンダー観」
- (2) 蘇 文博 (総合研究大学院大学) 「明治詩風詩論と黄遵憲の作詩法—清末『詩界革命』への影響を兼ねて—」
- (3) 佐古 恵里香 (流通科学大学)・山内 信幸 (同志社大学) 「カタカナ語の長さに関する一考察—中上級日本語学習者に与える心理的影響と産出正解率の分析—」
- (4) 栢山 剛 (国立鳥羽商船高等専門学校) 「太平洋戦争までの尾崎行雄の政治活動—高校時代を伊勢で過ごした彼の生涯とその背景を中心に—」
2. 講演 (16:10~16:50)
中川 久公先生 (京都恵美須神社宮司・同志社大学嘱託講師) 「神社と寺—神社に生を授かった者として—」
3. 関西支部総会 (16:50~16:55)
1. 2023-2024 年 会計決算 2. 2024-2025 年 会計予算
4. 閉会 (16:55~17:00)

***【お知らせ】関西支部 3 月例会**

日時：2025 年 3 月 8 日 (土) 13:30~

会場：同志社大学今出川キャンパス

支部長 山内 信幸

中国・四国支部

***【報告】関西・九州・中国四国三支部合同研究発表会**

日時：2025 年 12 月 8 日 (日) 13:00~17:00

場所：香川大学

プログラム

1. 講演 (13:15~14:10)
植村 友香子氏 (香川大学インターナショナルオフィス) 「ヘルシンキから高校生たちがやってきた—さくらサイエンスプログラムでの 1 週間—」
2. 研究発表 (14:20~16:50)
- <第一会場>
- (1) 万 巨鳳 (東北大学大学院) 日中両言語における感情形容詞の連用用法に関する一考察—モノ主語の場合—
- (2) 植村 知美 (山口県立大学) 「算数文章題における語彙使用の特徴とその分析—小学校低学年向け問題集を中心に—」

- (3) 岩松 文代 (北九州市立大学) 「ヨーロッパの竹栽培の導入と日本の竹との関連性」
- (4) 鄭 銀志 (県立広島大学) 「第二バチカン公会議前後における韓国のカトリック宗教服飾の変遷—日本との比較から—」
- (5) 徳村 郁哉 (香川大学) 「不定自然変換理論の社会実装に向けた精度向上のための連想確率の取得と検証」

<第二会場>

- (7) 周 莉荷 (広島大学大学院) 「日本語の「出産・出生」に関する動詞の使役交替化現象の考察—日本語と英語を対照に—」
- (8) 大谷 鉄平 (北陸大学) 「日本語コーパスにみるカタカナ類語のふるまいの異同一見出し文を対象とした研究に向けて—」
- (9) 林 芝好 (広島大学大学院) 「日本語の談話における感動詞の研究—「うそ」の音響音声学的特徴—」
- (10) 佐古 恵里香 (流通科学大学)・山内 信幸 (同志社大学) 「言語表現とイメージ形成に関する一考察—日本語学習者のイラストに現出した文化的表象の分析—」

***【お知らせ】2025年度中国・四国支部総会**

日時：2025年3月25日(火)15:30～

開催形態：オンライン

詳細はメールにてご案内いたします。

支部長 轟木 靖子

九州支部

***【お知らせ】第37回九州支部大会**

日時：2025年2月15日(土)13:00～17:00

場所：SAWARAPIA (福岡市早良区)

プログラム

1. 研究発表

- (1) 大谷 鉄平 (北陸大学) 「オンラインコミュニケーションツールでの「ワイ」の使用について—Discordにおけるやりとりを資料として—」
- (2) 川口 泉 (九州大学大学院) 「初任日本語教師を支える仕事の資源に関する一考察—日本語学校における教師支援の視点から—」
- (3) NGUYEN THI HA (グエン・ティ・ハー) (山口大学大学院) 「日本語・ベトナム語の自然会話における話者交替の対称性—「引き継ぎ」現象からみる—」
- (4) 祝 利 (北九州市立大学) 「「満洲国」大同学院による日本修学旅行について—1934年を中心—」
- (5) 林 裕二 (西南女学院大学) 「Kazuo Ishiguro Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall の Come Rain or Come Shine の二人称についての考察」
- (6) 吉松 孝 (九州共立大学) 「グルメ番組の表現手法と演出—日台の主要番組を例にして—」
- (7) 岩松 文代 (北九州市立大学) 「巨樹・老樹のある空間構成と景観認識—日常生活圏での「古木化」と心情のつながり—」
- (8) 篠原 征子 (西南女学院大学) 「婚礼のより高次の価値を効率的に実現する記号体系に関する分析」
- (9) 野口 周一 (郡山女子大学) 「下村湖人著『次郎物語』第5部のモデルをめぐる—大河無門(3)—」
- (10) 長野 綾子 (福岡県立新宮高等学校) 「Social and Emotional Learning (SEL) と英語学習—SELは日本人英語学習者の英語力を向上させることができるのか」
- (11) 池田 祐子 (中村学園大学) 「新訳『サロメ』と舞台『サロメ』の関係性に関する考察」
- (12) 橋本 恵子 (福岡工業大学短期大学部) 「テキストマイニングによる大隈重信の「婦人に対する實業思

想の急務」の分析]

(13) 佐藤 慶治 (鹿児島国際大学) 「小学校中学年の音楽科を対象とした学校放送における教育コンテンツの表象—「ふえはうたう」「ゆかいなコンサート」を中心に—」

支部長 八尋 春海

《編集委員会報告》

編集委員会委員長 中村 友紀

編集委員会の委員交代のご報告をいたします。編集委員会を構成する委員のうち、関西支部編集責任者は、2024年度より金志佳代子先生から大岩秀紀先生に交代しました。金志先生には、これまでありがとうございました。

《事務局からのお知らせ》

事務局長 風早 悟史

○会員情報更新のお願い：住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越しの際には、忘れずに会員調査書 (=入会申込書) に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

〈日本比較文化学会ウェブサイト 入会・会員情報変更〉 https://hikakubunka.jp/?page_id=97

〈入会申込書・会員調査書送付先〉

あゆみコーポレーション (業務委託先) hikakubunka [アットマーク] a-youme.jp

○会費納入のお願い：会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納 (学生会員については1年以上) の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。

〈会費振込情報〉 郵便振替口座：02570-6-8921

加入者名：日本比較文化学会

振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。